SONY

3-100-247-**02**(1)

ポータブル CD/DVD プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DVD VIDEO

COMPACT disc DIGITAL VIDEO

DVP-FX850

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

↓

安全のための注意事項を守る

4～8 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。45 ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

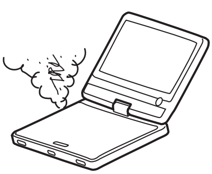
設置時や 1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、AC アダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使っていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、AC アダプターや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

❶ **電源を切る**

❷ **電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーパックをはずす**

❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電


指のケガに注意

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


接触禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


指示


プラグをコンセントから抜く

目次

警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンを使用したり、ディスクを再生したり、液晶画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。特に、本機に使われているレーザー光が目に当たると危険です。

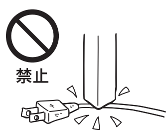


➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機や AC アダプターの上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機や AC アダプターを水滴のかかる場所に置かないでください。

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



付属以外の AC アダプターやカーアダプターを使わない

火災や感電の原因となります。



⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグや AC アダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。



本体や AC アダプター、カーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。



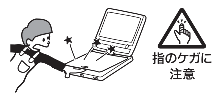
安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。



幼児の手の届かない場所に置く

液晶画面の開閉時やディスクぶたを閉じるときなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



回転しているディスクにはさわらない

ディスクぶたを開けると、ディスクが回転していることがあります。回転しているディスクにさわると、けがの原因となることがあります。



コード類は正しく配置する

電源コードや AV ケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。



長期間使わないときは、電源プラグを抜いてバッテリーパックをはずす

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



通電中、本体や AC アダプター、バッテリーパック、カーアダプターに長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低音やけどの原因となることがあります。



お手入れの際、電源プラグを抜いてバッテリーパックをはずす

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

禁止



本機の上に重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

液晶画面に強い力や衝撃を与えない

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れてけがの原因となることがあります。

禁止

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

禁止

ネジや本体端子キャップは乳幼児の手の届かない所に置く

乳幼児がネジや本体端子キャップを誤飲しないようにご注意ください。

禁止

液晶画面を長時間続けて見ない

液晶画面を長時間続けて見ると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。液晶画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。

禁止

➡ 万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

バッテリーパックについての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

本機以外で充電しない

禁止

火の中に入れない、ショートさせたり、分解したりしない、電子レンジやオーブンなどで加熱しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

また、コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。

⚠警告

火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない

危険防止の保護回路が壊れることがあります。

禁止

ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりして、強い衝撃を与えない

禁止

⚠注意

長時間使用しないときは、バッテリーパックをとりはずす

バッテリーパックを取り付けたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

指示

ぬれた手でさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRC
ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

電池についての安全上のご注意

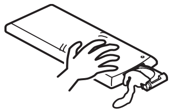
液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけがが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

接触禁止



必ず次の処理をする

➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

指示



⚠警告

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡ 万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

禁止



電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

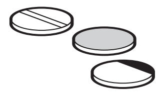


指定以外の電池を使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡ 電池の品番を確かめ、お使いください。

禁止

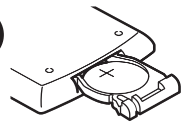


＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

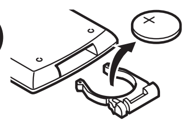
指示



使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

指示



コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない

指示

⚠注意

火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない

禁止

この取扱説明書のよみかた

- この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。
- 市販の DVD、DVD-RW/DVD-R（VR モード、ビデオモード）、DVD+RW/DVD+R（+VR モード）を総称して DVD と表現することもあります。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVD Video	DVD ビデオ、DVD+RW/DVD+R（+VR モード）、DVD-RW/DVD-R（ビデオモード）で使える機能
DVD VR	DVD-RW/DVD-R（VR モード）で使える機能
VCD	ビデオ CD（スーパー VCD あるいはビデオ CD フォーマットまたはスーパー VCD フォーマットの CD-R/CD-RW を含む）で使える機能
CD	音楽用 CD、音楽用 CD フォーマットの CD-R/CD-RW で使える機能
DATA CD	CD-ROM/CD-R/CD-RW の MP3（エムピースリー）* 音声トラックと JPEG 画像ファイルで使える機能
DATA DVD	DVD-ROM/DVD+RW/DVD+R/DVD-RW/DVD-R の MP3（エムピースリー）* 音声トラックと JPEG 画像ファイルで使える機能
USB	USB 接続機器の MP3（エムピースリー）* 音声トラックと JPEG 画像ファイルで使える機能

* MPEG-1 Audio Layer III：MPEG と国際標準化機構（ISO）/IEC（国際電気標準会議）によって規定された音声のデジタル圧縮規格のひとつ。

再生できるディスクについて

ディスクの種類	
市販の DVD	
DVD-RW/-R（ファイナライズ済ディスク）	
DVD+RW/+R（ファイナライズ済ディスク）	
ビデオ CD/音楽用 CD	
CD-RW/-R	

“DVD+RW”、“DVD-RW”、“DVD+R”、“DVD-R”、“DVD ビデオ”、“CD”のロゴは商標です。

CD/DVD についてのご注意

本機は以下のフォーマットで記録した CD-ROM/CD-R/CD-RW を再生できます。

- 音楽用フォーマット
- ビデオ CD フォーマット
- ISO9660* レベル 1/Joliet 準拠の MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイル
- KODAK Picture CD（コダックピクチャー CD）

* 国際標準化機構（ISO）が制定した CD-ROM の論理フォーマット。

本機は以下のフォーマットで記録した DVD-ROM/DVD+RW/DVD-RW/DVD+R/DVD-R を再生できます。

- UDF（ユニバーサルディスクフォーマット）準拠の MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイル

再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生することはできません。

- Blu-ray ディスク
- AVCHD 記録ディスク
- HD DVD
- DVD-RAM
- このページで記載のフォーマット以外で記録した CD-ROM/CD-R/CD-RW
- フォト CD フォーマットで記録した CD-ROM
- CD-EXTRA のデータ部分
- DVD オーディオ
- MP3/JPEG を含まないデータ DVD
- スーパーオーディオ CD の HD（ハイデンシティ）レイヤー

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）の市販の DVD
- NTSC 以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク
（本機が NTSC カラーテレビ方式対応のため）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕のあるディスク

ご注意

- **CD-R/CD-RW、DVD-RW/DVD-R、DVD+RW/DVD+R 再生時のご注意**

記録済みの CD-R/CD-RW、DVD-RW/DVD-R、DVD+RW/DVD+R は、傷や汚れ、また記録状態や記録機、CD/DVD 書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。

全ての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。

詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

DVD+RW/DVD+R によっては、適切にファイナライズ作業がされていても本機のいくつかの再生機能が使えないことがあります。その場合には、ノーマル再生でご覧下さい。また、パケットライト方式およびマルチセッションで作成されたデータ CD/ データ DVD には、再生できないものがあります。

- **DVD+R DL/DVD-R DL 再生時のご注意**

VR モードで記録された DVD-R DL ディスクは再生できない場合があります。
DVD+R DL/-R DL（ダブルレイヤー）の 2 層目に記録された MP3 および JPEG を再生できない場合があります。

- **CD 再生時のご注意**

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中には CD 規格に準拠していないものがあり、本製品で再生できない場合があります。

- **DualDisc についてのご注意**

DualDisc とは DVD 規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

地域番号（リージョンコード）について

著作権保護を目的に設けられた制度です。市販の DVD のパッケージには販売地域によって、地域番号が表示されています。
地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

DVD、ビデオ CD 再生操作について

DVD、ビデオ CD はソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

著作権について

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

本製品の日本語表示には、株式会社リコー所有の文字フォントを使用しています。

商標について

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTS および DTS Digital Out は、Digital Theater Systems, Inc. の商標です。

付属品を確認する

次の付属品がそろっているかを確認してください。

- 映像音声コード（ミニプラグ× 2 ↔ ピンプラグ× 3）（1）
- 電源コード（1）
- AC アダプター（1）
- カーアダプター（1）
- バッテリーパック NP-FX110（1）
- リモコン（電池入り）（1）
- ソニーご相談窓口のご案内 （1）
- 保証書 （1）

付属品がそろっていないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

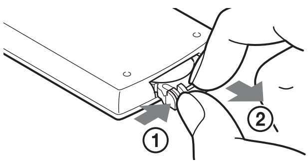
リモコンを使う

本機を操作するときは、本機のリモコン受光部 ▣ にリモコンを向けて操作してください。

リモコンの電池を交換するには

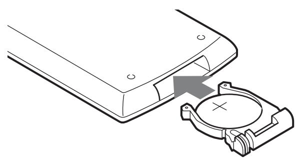
リチウム電池 CR2025 の (⊕) と（⊖）を正しく入れてください。

1 ロックレバーを押したまま（①)、バッテリーホルダーを引き出す（②)。



2 古い電池を取り出す。

3 バッテリーホルダーに新しい電池を、(⊕）を上向きにして入れ、奥まで押し込む。



ご注意

- リモコンを使うときは、リモコン受光部 ▣ に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。
- 電池が消耗するとボタンを押しても操作できないことがあります。リモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

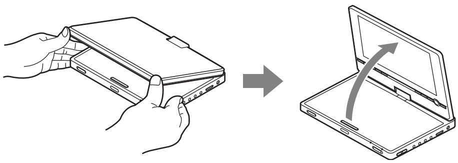
液晶画面を使う

本機の液晶画面は時計回りに最大 180 度回転して使用することができます。回転後本体の上に液晶画面を折りたたんで、本機を操作することもできます。

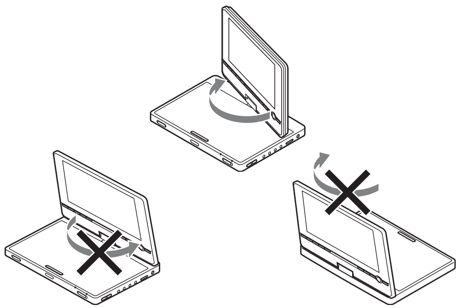
液晶画面を回転させる

1 **本機をテーブルなどの平らで安定した場所に置く。**

2 **親指で液晶画面を押し上げて垂直の位置になるまで開く。**

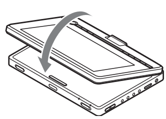


3 **液晶画面をゆっくりと矢印の方向（時計回り）に 180 度回転する。**



液晶画面を回転して折り重ねる

液晶画面を時計回りに 180 度回転した後で、本体の上に液晶画面を押し倒します。その位置で液晶画面は上向きになります。



液晶画面を元の位置に戻すには

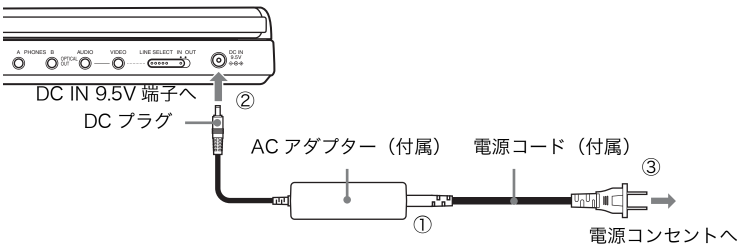
液晶画面を垂直の位置まで開き、ゆっくりと反時計回りに回転させます。

ご注意

- 液晶画面を 180 度以上回転させないでください。また反対方向へ回転させないでください。液晶画面が破損します。
- 液晶画面を開ききっていないときは、回転させないでください。液晶画面が傷つく場合があります。
- ご使用後は、液晶画面を元の位置に戻してください。突然の衝撃などによって液晶画面を傷つける場合があります。

AC アダプターをつなぐ

AC アダプター（付属）を下図の①、②、③の順でつなぎます。
取りはずす場合は③、②、①の順で行ってください。
「使用上のご注意」の「AC アダプターについて」（45 ページ）もあわせてご覧ください。



ご注意

電源プラグを抜くときは、再生を止めてください。再生中に電源プラグを抜くと、故障の原因となることがあります。

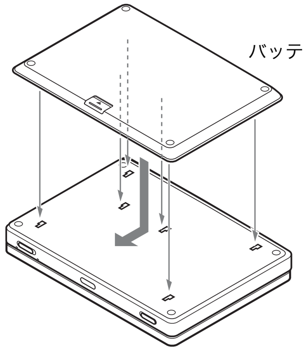
バッテリーパックで使う

電源コンセントが利用できない場合は、バッテリーパック（付属）を装着して本機を使用することができます。
ご使用前にバッテリーパックを充電してください。
「使用上のご注意」の「バッテリーパックについて」（45 ページ）もあわせてご覧ください。

バッテリーパックを取り付ける

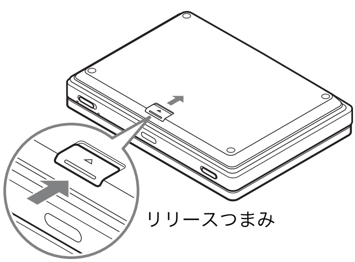
1 本体底面の線にバッテリーパックの端を合わせて、バッテリーパックのツメを入れる。

2 バッテリーパックを矢印の方向にカチッと音がするまでずらす。



バッテリーパックを取りはずすには

リリースつまみを矢印の方向に押して、バッテリーパックを矢印の方向にずらします。



ご注意

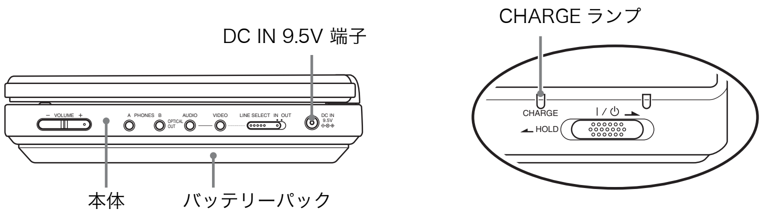
- バッテリーパックを取り付けるときは、本機の電源を切ってください。
- 再生中にバッテリーパックをはずさないでください。
- 本機およびバッテリーパックの接続端子にさわらないでください。故障の原因となることがあります。
- バッテリーパックの取り付け時や取りはずし時にバッテリーパックを落とさないようにご注意ください。

➡ 次のページへつづく

バッテリーパックを充電する

1 **バッテリーパックを本体に取り付ける（15 ページ）。**

2 **AC アダプターを本機につなぎ、電源コードをコンセントに差し込む（14 ページ）。**



充電が開始されると、本体前面の CHARGE（充電）ランプが点灯します。
充電が終了すると、本体前面の CHARGE ランプが消灯します。

3 **充電完了後、電源コードをコンセントから抜き、AC アダプターをはずす。**

バッテリーの残量を確認するには

停止中、液晶画面にバッテリーマークが表示されます。
「」が表示されるか、充電ランプが点滅したら、バッテリーパックを充電してください。



DVD やビデオ CD、JPEG 画像再生中にはバッテリーマークは表示されません。再生を停止してバッテリー残量を確認してください。

充電時間と最長再生時間

充電時間（電源切時）	再生時間（画面表示時）
約 6 時間	約 6 時間 *

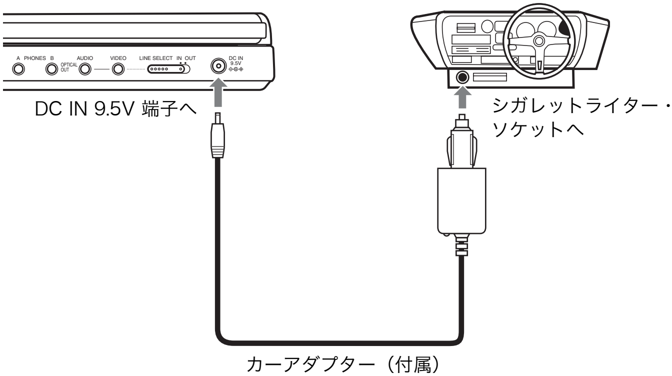
* 以下の条件での最長連続再生時間の目安です。
ー 常温（20 ℃）
ー ヘッドホン使用
ー バックライトの調整を最小に設定
ー「オーディオ設定」の「音声デジタル出力」を「切」に設定
バッテリーパックの状態により、使用時間は短くなることがあります。

ご注意

- AC アダプター使用時やライン入力時は、液晶画面にバッテリーマークは表示されません。
- 上記で表示されている充電時間は、使用状況や環境などにより異なります。周囲の温度が 10 ～ 30 ℃の範囲で、満充電まで充電することをおすすめします。

カーアダプターを使う

カーアダプター（付属）を使って、シガレットライター・ソケットから本機に電源を供給できます。このアダプターは 12V バッテリー車専用です。24V バッテリー車では使用しないでください。また、このアダプターは、アースがマイナスの自動車専用ですので、アースがプラスの自動車では使用しないでください。
「使用上のご注意」の「カーアダプターについて」（46 ページ）もあわせてご覧ください。



ヒント

付属のカーアダプターがギヤ操作などの運転操作と干渉するおそれがあるときは、市販のシガレットライター・ソケットの延長コードの使用をおすすめします。

ご注意

- カーアダプターを落としたり、損傷した場合は、使用しないでください。
- 運転者の邪魔にならないようにコードを配置してください。また運転者から見える位置に液晶画面を設置しないでください。
- 画像が乱れる場合は、カーアダプターを本機から離してください。
- カーアダプターで本機を使用する場合は、自動車のエンジンをかけた状態で使用してください。自動車のエンジンを止めた状態で使用すると、自動車のバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- 自動車のシガレットライター・ソケットが灰などで汚れていると、接続不良のためにカーアダプターのプラグ部分が熱を持ちます。必ず清掃してから使用してください。
- 充電中または長時間使用するとカーアダプターが熱を持つことがありますが、これは故障ではありません。

カーアダプターを使い終わったら

まず本機の電源を切ってから、カーアダプターをシガレットライター・ソケットからはずしてください。

ご注意

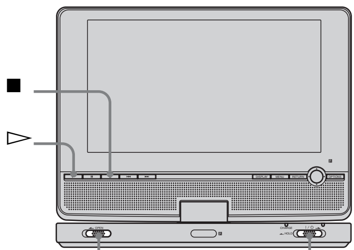
- 本機の電源が入った状態で自動車のイグニッションキーを切ると本機への電源供給が停止し、故障の原因となることがあります。
- 使用後にカーアダプターをつないだままにしておくと、自動車によってはイグニッションキーを切っても、シガレットライターに電源を供給しているため、自動車のバッテリーが放電してしまう場合があります。
- カーアダプターを取りはずす場合は、アダプターのプラグ部分をつかんで抜いてください。
- カーラジオを聞いている間は、雑音の発生を避けるためにカーアダプターをシガレットライター・ソケットから抜いてください。

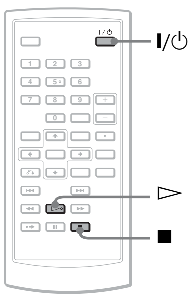
ディスクを再生する

DVDVideo　DVDVR　VCD　CD

DATA CD　DATA DVD　USB

DVD あるいはビデオ CD によっては、禁止されている操作もあります。
再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
AC アダプターを接続、またはバッテリーパックを装着します。





1 本体の液晶画面を開く（13 ページ）。

本体右側面の LINE SELECT スイッチを「OUT」にし、本体左側面の CD/DVD USB 切り換えスイッチを「CD/DVD」にします。

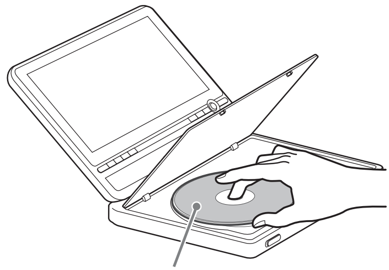
2 リモコンの I/⏻（電源）ボタンを押すか、本体の I/⏻/HOLD（電源 / ホールド）スイッチを右側にスライドする。

本機の電源が入り電源ランプが緑色に点灯します。

3 OPEN つまみを左側にスライドしてディスクぶたを開く。

4 再生するディスクをはめ込む。

再生したい面を下にして、カチッと音がするまではめ込みます。



5 本体の PUSH CLOSE 部を押してディスクぶたを閉じる。

6 ▷（再生）を押す。

再生が始まります。

- ディスクぶたを閉じると、自動で再生が始まる場合もあります。
- ディスクによっては、液晶画面にメニューが表示されることがあります。DVD ビデオ再生の場合は 20 ページ、ビデオ CD の場合は 23 ページをご覧ください。
- 全てのタイトルの再生が終了すると、本機は自動的に停止しメニュー画面に戻ります。

ご注意

- ディスクの再生面を上にしてセットすると、「ディスクなし」または「このディスクは再生できません」と画面に表示されます。
- DVD レコーダーで記録されたディスクを再生するには、ファイナライズ作業が適切に行われている必要があります。ファイナライズ作業について詳しくは、DVD レコーダーに付属の取扱説明書をお読みください。

- ディスクぶたを開けたときに、ディスクがまだ回転しているときは、ディスクに触れないでください。ディスクの回転が停止してから、ディスクを取り出してください。
- 操作中に液晶画面に「⊘」が表示される場合があります。この記号は、この取扱説明書で説明されている機能がその DVD ビデオで利用できないことを意味します。
- DVD-RW/-R（VR モード）をセットすると、記録された内容により再生が開始されるまでに時間がかかることがあります。

再生を途中で停止するには

■ を押します。もう一度 ▷ を押すと、つづきから再生が始まります（つづき再生）。つづき再生について詳しくは、20 ページをご覧ください。
最初から再生したいときは ■ を 2 回押してから、▷ を押します。

電源を切るには

リモコンの I/⏻ ボタンを押すか、本体の I/⏻/HOLD スイッチを右にスライドして、電源を切ります。

本体ボタンの誤作動を防ぐには（ホールド機能）

本体の I/⏻/HOLD スイッチを「HOLD」にすると、本体のボタン操作を無効にすることができます。リモコンでは操作できます。

DVD ビデオの DTS 音声を楽しみたいときは

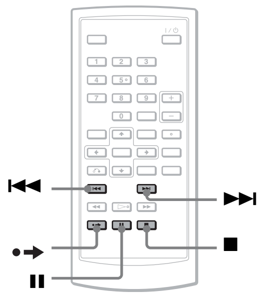
- 本機のスピーカーからは DTS 音声が出ません。DTS 音声を楽しみたいときは、アンプと接続し（40 ページ）、「オーディオ設定」の「DTS」を設定してください（35 ページ）。
- DTS デコーダーを内蔵していないアンプなどのオーディオ機器につないでいるときは、「オーディオ設定」の「DTS」を「入」に設定しないでください（35 ページ）。スピーカーから大きな音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

ご注意

- 停止中、または一時停止中、15 分以上本体またはリモコンを操作しないと、自動的にスクリーンセーバーが作動します。▷ を押すとスクリーンセーバーが消えます。スクリーンセーバーについて詳しくは、34 ページをご覧ください。
- スクリーンセーバー起動後、さらに 15 分たつと電源が自動的に切れます（オートパワーオフ機能）。

再生中の操作

DVDVideo DVDVR VCD CD DATA CD DATA DVD USB



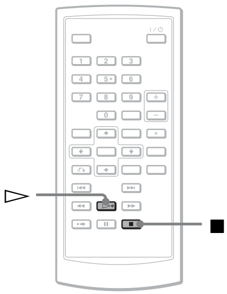
こんなときは	こうする
停止する	■ を押す
一時停止する	❚❚ を押す
再生中にチャプターや場面、トラックを進める	▶▶❙ を押す
再生中にチャプターや場面、トラックを戻す	❙◀◀ を押す
少し先の画像に進む *	再生中に●➡ を押す

* DVD ビデオと DVD（VR モード）のみ。再生場面によっては使えないことがあります。

再生を止めたところから再生する（つづき再生）

DVDVideo DVDVR VCD CD

再生を止めたあと、液晶画面にメッセージが表示されると、本機は再生を止めたところを記録します。再び再生ボタンを押すと、そのつづきから再生できます。ディスクぶたを開けない限り、本機の電源を切ってもつづき再生は働きます。



1 ディスクの再生中、■（停止）を押して、再生を止める。
液晶画面にメッセージが表示されます。

2 ▷（再生）を押す。
手順 1 で再生を止めたところから、再生が始まります。

ヒント

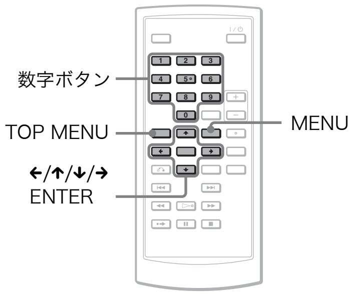
- ディスクを最初から再生したいときは、■ を 2 回押してから、▷ を押します。
- 停止後、電源を切り、再び電源を入れると、自動的につづき再生します。

ご注意

- 再生を止めたところによっては、つづき再生の始まりがずれることがあります。
- 次の場合、再生を止めたところの記録は消え、つづき再生できません。
  ー VR モードの DVD で電源を切ったとき
  ー ディスクぶたを開いたとき
  ー バッテリーパックと AC アダプターをはずしたとき
  ー CD/DVD USB 切り換えスイッチや LINE SELECT スイッチを切り換えたとき

DVD のメニューを使う DVDVideo

DVD ビデオには、DVD 独自のメニューが記録されているものがあります。
複数のタイトル（映像や曲）が記録されている DVD ビデオは TOP MENU ボタンを、ディスクの内容（字幕や音声の言語など）をメニューで選択できる DVD ビデオは MENU ボタンを使って再生できます。



1 TOP MENU（トップメニュー）ボタンまたは MENU（メニュー）ボタンを押す。
ディスクのメニューが表示されます。
メニューの内容はディスクによって異なります。

2 ←/↑/↓/→ または数字ボタンで項目を選ぶ。

3 ENTER（決定）ボタンを押す。

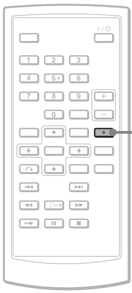
ご注意

ディスクによってはメニュー画面で本体の ←/→ が使えないことがあります。この場合はリモコンの ←/→ をお使いください。

音声を切り換える

DVDVideo DVDVR VCD CD

複数の音声記録方式（ドルビーデジタル、DTS、PCM など）で記録された DVD ビデオを再生しているときに、音声記録方式を選ぶことができます。複数の音声の言語が記録された DVD ビデオでは、言語を選ぶこともできます。
また、CD やビデオ CD 再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。カラオケのビデオ CD などで、伴奏だけを聞くこともできます。



1 AUDIO（音声）ボタンを繰り返し押して、音声を選ぶ。

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

◆ DVD ビデオのとき

選べる言語は DVD ビデオによって異なります。
同じ言語が 2 個以上表示されたときは、音声記録方式（チャンネル数など）が異なります。

◆ DVD-VR モードのとき

録音された音声トラックが表示されます。
例：

- 1. 主（主音声）
- 1. 副（副音声）
- 1. 主＋副（主音声 + 副音声）

◆ CD/ ビデオ CD のとき

- ステレオ：通常のステレオ再生
- 左：左チャンネルの音（モノラル）
- 右：右チャンネルの音（モノラル）

◆ スーパー VCD のとき

- ステレオ：音声トラック 1 のステレオ再生
- 左：音声トラック 1 の左チャンネルの音（モノラル）
- 右：音声トラック 1 の右チャンネルの音（モノラル）
- ステレオ 1：音声トラック 2 のステレオ再生
- 左 1：音声トラック 2 の左チャンネルの音（モノラル）
- 右 1：音声トラック 2 の右チャンネルの音（モノラル）

ヒント

- DVD ビデオ再生中に繰り返し AUDIO ボタンを押すと、現在の音声の信号フォーマット（ドルビーデジタル、DTS、PCM など）を確認することができます。
- DVD 再生中は再生設定画面から、音声を切り換えることもできます（24 ページ）。

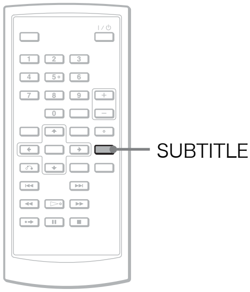
ご注意

- ディスクによっては複数の音声が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- 音声トラック 2 が記録されていないスーパー VCD では、「ステレオ 1」または「左 1」、「右 1」を選ぶと、音声が出力されません。
- DVD-RW/DVD-R（VR モード）で再生するときに、OPTICAL OUT 端子に接続したアンプなどのオーディオ機器を使って音声トラックを再生するときは、「オーディオ設定」の「ドルビーデジタル」を「ダウンミックス PCM」に設定してください（35 ページ）。
- 「オーディオ設定」で「DTS」を「切」にしている場合（35 ページ）、ディスクに DTS 信号が含まれていても OPTICAL OUT 端子から DTS 信号は出力されません。
- CD の DTS 音声再生時は音声を切り換えることはできません。

➡ 次のページへつづく

字幕を表示する DVD Video DVD VR

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり切り換えたりできます。語学の学習などに便利です。



1 SUBTITLE（字幕）ボタンを繰り返し押して、言語を選ぶ。

選べる言語はディスクによって異なります。

字幕設定を解除するには

手順 1 で「字幕切」を選びます。

ヒント

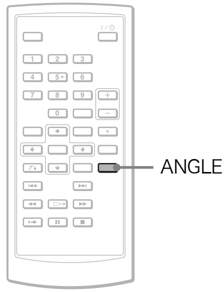
DVD 再生中は再生設定画面から、字幕を切り換えることもできます（24 ページ）。

ご注意

- DVD ビデオによっては字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。
- 字幕を表示してディスクを再生している間に ●➡ を押すと、字幕が消えます。

アングルを切り換える DVD Video

DVD ビデオに複数のアングルが記録されているとき、正面から見た景色を右から見た景色に切り換えるなど、好きなアングルを選ぶことができます。
アングルを変えられるときは、液晶画面に「」が表示されます。



1 再生中に ANGLE（アングル）ボタンを繰り返し押して、アングル番号を選ぶ。

選んだアングルに切り換わります。

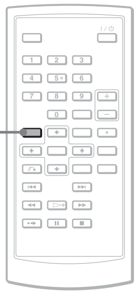
ご注意

- DVD ビデオによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- スロー再生、スキャン中はアングルを変えることはできません。
- （アングルマーク）は「一般設定」の「アングルマーク」が「切」のときは表示されません（34 ページ）。

DVD-RW/DVD-R のオリジナルとプレイリストを選ぶ

DVDVR

DVD-RW/DVD-R（VR モード）には、ディスクに実際に記録される「オリジナル」のタイトルと、DVD レコーダー等で編集して作成される「プレイリスト」という 2 種類のタイトルがあります。
このようなディスクでは、再生するタイトルの種類を選んで再生することができます。



1 停止中に TOP MENU（トップメニュー）ボタンを押す。
現在のモードが表示されます。
つづき再生停止時は TOP MENU ボタンが効きません。■ を 2 回押してつづき再生を解除してから TOP MENU ボタンを押してください。

2 TOP MENU ボタンを繰り返し押して、モードを切り換える。

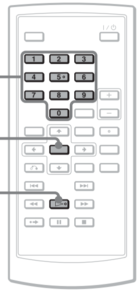
ヒント
再生時、現在のモードを確認するには、DISPLAY ボタンを押します。再生設定画面のタイトル番号の隣に「プレイリスト」または「オリジナル」が表示されます。

ご注意

- プレイリストがあるディスクでは、自動的にプレイリストが再生されます。
- プレイリストが記録されていないディスクで停止中に TOP MENU ボタンを押すと、「オリジナル」が表示されます。さらに TOP MENU ボタンを押すと「⊘」が表示されます。

プレイバックコントロール機能を使うには（PBC 再生）VCD

液晶画面に表示される選択用のメニューにしたがって、再生や検索ができます
プレイバック コントロール
（Playback Control-PBC 機能）。



1 PBC 対応ビデオ CD を再生する。
選択用のメニュー画面が表示されます。

2 メニュー画面で行いたい（再生したい）項目の番号を数字ボタンで選び、ENTER（決定）ボタンを押す。

3 液晶画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、操作する。
操作の方法はディスクによって異なることがあります。ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。

ヒント
PBC 機能を解除するには「一般設定」で「PBC」を「切」に設定し（34 ページ）、ディスクぶたを開閉してください。

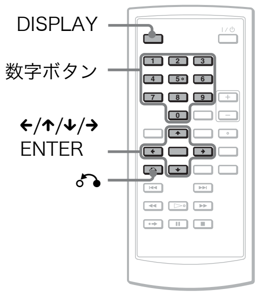
ご注意

ディスクによっては手順 2 で ENTER ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。そのときは、▷ を押してください。

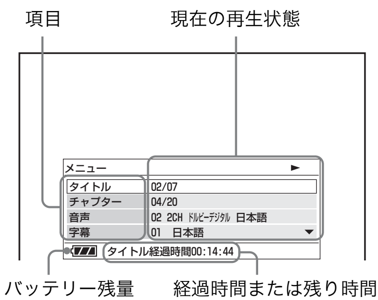
再生設定画面を使う

DVDVideo　DVDVR

DVD 再生中に現在の再生状態を液晶画面に表示します。
音声や字幕、アングルを変更したり、番号を入力してタイトルやチャプターをさがすこともできます。



1 **再生中に DISPLAY（再生設定）ボタンを押す。**
再生設定画面が表示されます。
例：DVD ビデオを再生中



再生、一時停止、スキャン / スロー再生では、それぞれに対応するアイコンが再生設定画面の右上に表示されます。
VR モードのディスクでは「プレイリスト」または「オリジナル」がタイトル番号の隣に表示されます。

2 **↑/↓ で変更したい項目を選び、ENTER（決定）ボタンを押す。**
- タイトル
- チャプター
- 音声
- 字幕
- アングル
- タイトル時間
- チャプター時間
- リピート
- 時間表示

3 **↑/↓ で設定を選び、ENTER ボタンを押す。**
番号の入力には、数字ボタンまたは ↑/↓ を使います。

再生設定画面を閉じるには

DISPLAY ボタンまたは ↩ リターンボタンを押します。

ご注意

ディスクによっては、変更ができない項目があります。

タイトル / チャプターなどをさがす DVDVideo　DVDVR

番号や時間を入力して DVD のタイトルまたはチャプターを探すことができます。

1 **再生設定画面を表示させ ↑/↓ で検索項目を選び、ENTER（決定）ボタンを押す。**
- タイトル
- チャプター
- タイトル時間*
- チャプター時間*

* DVD ビデオでは、タイムコードを入力して場面をさがすことができます。

2 **数字ボタンまたは ↑/↓ でタイトルやチャプターの番号を入力して、ENTER ボタンを押す。**
選んだ箇所の再生が始まります。

手順 1 でタイトル時間 / チャプター時間を選んだときは、「00：00：00」が表示されますので、数字ボタンでタイムコードを入力してください。ENTER ボタンを押した後、入力されたタイムコードから再生されます。経過時間または残り時間は再生設定画面の一番下に表示されます。

ヒント

- 再生設定画面が表示されていなくてもダイレクトサーチができます。詳しくは 26 ページをご覧ください。
- CD/ ビデオ CD のサーチについて詳しくは、26 ページをご覧ください。

ご注意

- 表示されるタイトル、チャプターの番号はディスクに記録されている番号と同じです。
- DVD-RW/DVD-R（VR モード）の再生中は、チャプター時間は表示されません。チャプター時間には「--：--：--」と表示されます。
- ディスクによってはタイムコードが使えない場合があります。

DVD を繰り返し再生する（リピート再生）

DVDVideo

DVD のすべてのタイトル、または 1 つのタイトル / チャプターを繰り返し再生できます。

1 再生設定画面で「リピート」を選び、ENTER（決定）ボタンを押す。

2 ↑/↓ で再生項目を選び、ENTER ボタンを押す。

- チャプター：再生中のチャプター
- タイトル：再生中のタイトル
- ディスク：すべてのタイトル

通常の再生に戻すには

手順 2 で「切」を選びます。

ヒント

ビデオ CD または CD を繰り返し再生する場合は、OPTIONS ボタンをお使いください（27 ページ）。

ご注意

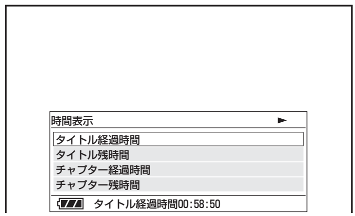
ディスクによっては、リピート再生が行えない場合があります。

経過時間と残り時間を見る

DVDVideo DVDVR

再生中のタイトル、チャプターの経過時間と残り時間を見ることができます。

1 再生設定画面で「時間表示」を選び、ENTER（決定）ボタンを押す。



2 ↑/↓ で時間表示項目を選び、ENTER ボタンを押す。

- タイトル経過時間
- タイトル残時間
- チャプター経過時間
- チャプター残時間

ヒント

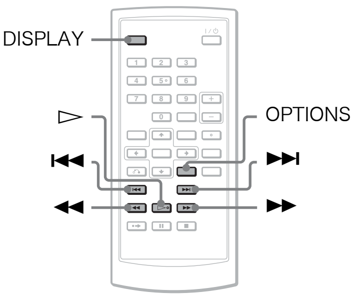
CD/ ビデオ CD の経過時間表示について詳しくは、28 ページをご覧ください。

ご注意

- DVD-RW/DVD-R（VR モード）では、チャプターの経過 / 残り時間は表示できません。
- 「時間表示」の初期値は「タイトル経過時間」です。「時間表示」の他の項目を選択し、再生設定画面を終了しても、再度、再生設定画面を表示したときは「タイトル経過時間」が表示されます。

見たいところ、聞きたいところをさがす（サーチ / スキャン / スロー / リピート / ランダム）

再生しながら早送りや早戻しをして、見たいところや聞きたいところをさがしたり、スロー再生をすることができます。



ご注意

- ディスクによっては操作が禁止されている場合があります。
- データ CD/ データ DVD では､MP3 音声トラック上でのみ聞きたいところをさがすことができます。

⏮/⏭（前 / 次）ボタンを使って見たいところ、聞きたいところをさがす（サーチ）

DVDVideo DVDVR VCD CD DATA CD DATA DVD USB

再生中に ⏮/⏭（前 / 次）を押すと、チャプターやトラック、シーンを戻したり進めたりできます。

ヒント

チャプターやトラックの番号がわかっているときは数字ボタンを押してダイレクトサーチができます。

- DVD ビデオ再生時は､数字ボタンと ENTER ボタンを押してタイトルまたはチャプターを探すことができます。タイトルとチャプターの切り換えは ←/→ を使用します。
- CD/ ビデオ CD 再生時は、数字ボタンと ENTER ボタンを押してトラックを探すことができます。

早送り / 早戻しをして見たいところ、聞きたいところをさがす（スキャン）

DVDVideo DVDVR VCD CD DATA CD DATA DVD USB

再生中に早送りするには ▶▶ を、早戻しをするには ◀◀ を押します。▷ を押すと通常の再生に戻ります。
スキャン中に ◀◀ または ▶▶ を繰り返し押すと、再生の速さが変わります。
ボタンを押すたびに次のように表示が切り換わります。

◆再生方向

▷ → 1▶▶ → 2▶▶ → 3▶▶ → ▷

◆逆方向

▷ → 1◀◀ → 2◀◀ → 3◀◀ → ▷

1▶▶/1◀◀ より 2▶▶/2◀◀ のほうが、また 2▶▶/2◀◀ より 3▶▶/3◀◀ のほうが高速で再生します。

ヒント
本体の →/← はリモコンの ▶▶/◀◀ と同じ動作、本体の決定ボタンはリモコンの ▷ と同じ動作をします。この機能は DVD を再生するときにのみ有効です。

ご注意

- DVD やビデオ CD のスキャン中、音声は出力されません。
- スキャン速度は再生しているディスクによって異なります。

スロー再生する DVDVideo DVDVR VCD

一時停止中に ◀◀ または ▶▶ を押します。
▷ を押すと通常の再生に戻ります。
スロー再生中に ◀◀ または ▶▶ を繰り返し押すと、再生の速さが変わります。
ボタンを押すたびに次のように表示が切り換わります。

◆再生方向

▷ → 1▮▶ → 2▮▶ → 3▮▶ → ▷

◆逆方向（DVD のみ）

▷ → 1◀▮ → 2◀▮ → 3◀▮ → ▷

1▮▶/1◀▮より 2▮▶/2◀▮のほうが、また 2▮▶/2◀▮より 3▮▶/3◀▮のほうが低速で再生します。

ご注意

スロー速度は再生しているディスクによって異なります。

CD/ ビデオ CD をリピート再生 / ランダム再生する VCD CD

ディスクのすべてのトラック、または 1 つのトラックを繰り返し再生できます（リピート再生）。
また、本機が自動的にトラックの順番を選んで再生できます（ランダム再生）。

1 再生中に OPTIONS（オプション）ボタンを繰り返し押して再生モードを選ぶ。

- ⟲ トラック：現在のトラックを繰り返し再生します。
- ⟲ ディスク：ディスク内の全トラックを繰り返し再生します。
- ランダム：ディスク内のトラックをランダムに再生します。

通常の再生に戻すには

手順 1 で「⟲ 切」を選びます。

ヒント
ランダム再生中に ▶▶▮ を押すと、別のトラックにランダムに移動して再生を開始します。

ご注意

- ビデオCDやスーパーVCDでPBC再生しているときは、リピート再生やランダム再生はできません。
- ディスクによってはランダム再生ができないことがあります。
- ランダム再生中に同じトラックが複数回再生されることがあります。

➡ 次のページへつづく

ディスクの再生情報を確認する DVDVideo DVDVR VCD CD

DVD 再生時

DVD を再生中に DISPLAY ボタンを押し、再生設定画面をお使いください（24 ページ）。

CD 再生時

DISPLAY ボタンを押すと、再生中のトラック番号 / トラック総数とトラック経過時間を表示します。繰り返し DISPLAY ボタンを押すと、トラック経過時間の表示は次の順に切り換わります。

- トラック経過時間
- トラック残時間
- ディスク経過時間
- ディスク残時間

ビデオ CD 再生時

DISPLAY ボタンを押すと、PBC 入（PBC「切」時は再生中のトラック番号 / トラック総数）、経過時間、音声モードを表示します。

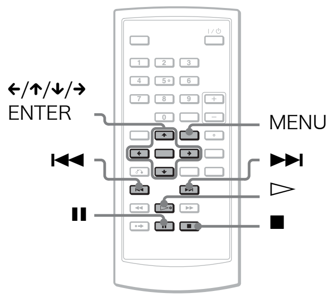
ご注意

CD のランダム再生時は「ディスク経過時間」と「ディスク残時間」を表示しません。

MP3 音声トラック /JPEG 画像ファイルを再生する

DATA CD DATA DVD USB

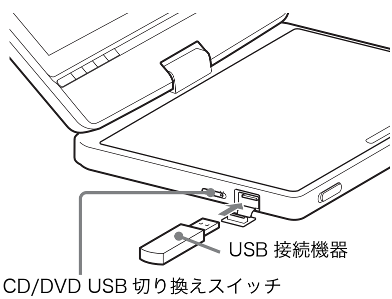
本機では、データ CD（CD-ROM/CD-R/CD-RW）やデータ DVD（DVD-ROM/DVD+RW/DVD+R/DVD-RW/DVD-R）、USB 接続機器に記録されている MP3 音声トラック /JPEG 画像ファイルを再生できます。再生できる MP3 音声ファイルや JPEG 画像ファイルについては、48 ページをご覧ください。
データ CD やデータ DVD を入れると、アルバムリスト画面が表示されます。



USB 接続機器に保存されているデータを再生するには

1 本体左側面の CD/DVD USB 切り換えスイッチを「USB」側にする。

2 USB 接続機器を、本機左側面の USB 端子につなぐ。



USB 接続機器を取り外すには

1 本体左側面の CD/DVD USB 切り換えスイッチを「CD/DVD」にする。

2 USB 接続機器を取り外す。

対応しているソニー製 USB 接続機器

USB 接続によるフォト（JPEG）や MP3 音声の再生は、ソニー製メモリースティック USB リーダーライターおよび USB メモリー「ポケットビット」で接続を確認しています（接続確認機種：MSAC-US40, USM-J シリーズ , USM-JX シリーズ , USM-H シリーズ）。

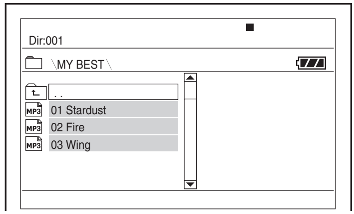
ご注意

- USB 接続機器のアクセスランプが点滅しているときは、USB 接続機器を抜かないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- 一部のUSB接続機器において本機とのデータ読み込みが終了しても、USB 接続機器のアクセスランプが継続して点滅することがあります。
- 本機に接続できる USB 接続機器は、フラッシュメモリーとマルチカードリーダーです。これら以外の機器（デジタルスチルカメラや USB ハブなど）は接続できません。接続できない機器を接続したときは、「認識できないデバイスです」とメッセージが表示されます。
- データ CD を入れると、KODAK Picture CD（コダックピクチャー CD）は、自動的に再生を始めます。

MP3 音声トラックを再生する

1 アルバムリスト画面から ↑/↓ でアルバムを選び、ENTER（決定）ボタンを押す。

アルバム内のトラックの一覧が表示されます。



- 前後のページを表示するには、⏮ または ⏭ を押します。
- アルバムリストに戻るには、↑/↓ で 📁 を選び ENTER ボタンを押します。

2 ↑/↓で再生したいトラックを選び、ENTER ボタンを押す。

選んだトラックから再生が始まります。

次または前の MP3 音声トラックを再生するには

⏭ または ⏮ を押します。

再生を止めるには

■ を押します。

再生を一時停止するには

再生中に ❚❚ を押します。もう一度 ❚❚ を押すと、つづきから再生が始まります。

ご注意

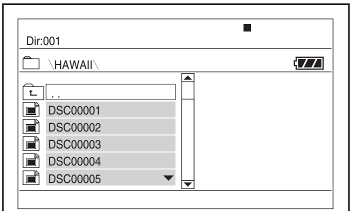
- 認識できるファイルとアルバムの合計数は約 648 です。
- 認識できるディスクのアルバム数は約 299 です。

➡ 次のページへつづく

JPEG 画像ファイルを再生する

1 **アルバムリスト画面から ↑/↓ でアルバムを選び、ENTER（決定）ボタンを押す。**

アルバム内のファイルが一覧で表示されます。

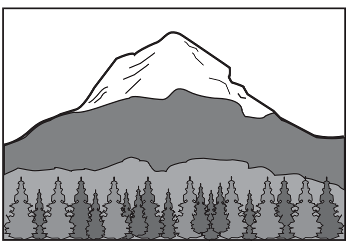


- 前後のページを表示するには、⏮ または ⏭ を押します。
- アルバムリストに戻るには、↑/↓ で を選び ENTER ボタンを押します。

2 **↑/↓ で再生したい画像を選び、ENTER ボタンを押す。**

選んだ画像が画面に表示されます。

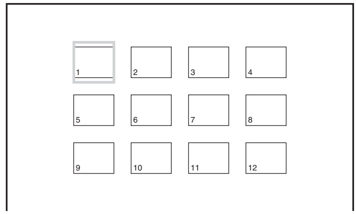
例：



サムネイルの一覧を表示するには

ファイルを表示中に MENU（メニュー）ボタンを押します。

アルバム内の画像ファイルが、表示中のファイルを先頭に 12 個の小画面で表示されます。



- サムネイルの一覧表示で、前後のページを表示するには、画面下の「◀Prev」または「Next▶」を選びます。
- サムネイルの一覧表示を終了するには MENU ボタンを押します。

次または前の JPEG 画像ファイルを表示するには

⏭ または ⏮ を押します。

JPEG 画像を回転させるには

画像を表示中に、←/↑/↓/→ を押します。

↑：上下に反転

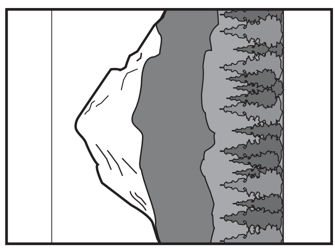
↓：左右に反転

→：時計回りに 90 度回転

←：反時計回りに 90 度回転

⏮ /⏭ で前または次の画像を選択すると、通常に戻ります。

例：← を 1 回押したとき



画像の表示を止めるには

■ を押します。

ファイル一覧表示に戻ります。

ご注意

- ディスクに記録された JPEG 画像ファイルの数やサイズにより読み込みに時間がかかる場合があります。数分間経過しても画像が表示されない場合は、一部のファイルが大きすぎる可能性があります。
- プログレッシブ JPEG 画像ファイルや 300 万画素以上の JPEG 画像ファイルでは、表示するまでに時間がかかるものがあります。

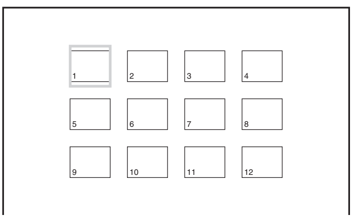
- JPEG 画像ファイルのサイズがノーマルモードで 3078（幅）× 2048（高さ）以上、またはプログレッシブ JPEG で 330 万画素以上のファイルは再生できません（これ以下でも表示できない場合があります）。
- 認識できるファイルとアルバムの合計数は約 648 です。
- 認識できるディスクのアルバム数は約 299 です。

JPEG 画像をスライドショーとして楽しむ

データ CD/ データ DVD に含まれている JPEG 画像ファイルを、スライドショーとして再生することができます。

1 スライドショーを開始したいファイルを表示中に MENU（メニュー）ボタンを押す。

サムネイルの一覧が表示されます。



2 ←/↑/↓/→ で画面下の「Slide Show」を選び、ENTER（決定）ボタンを押す。

表示していたファイルからスライドショーが始まります。

スライドショーを一時停止するには

❚❚ を押します。▷ か ❚❚ を押すと、スライドショーに戻ります。

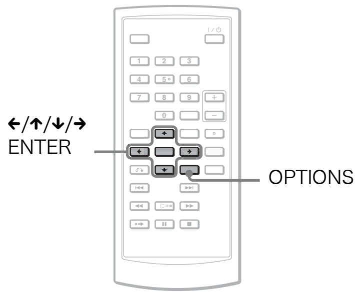
スライドショーを止めるには

■ または MENU ボタンを押します。

画面のサイズ / 画質を調整する

DVDVideo DVDVR VCD DATA CD DATA DVD USB

本機の液晶画面で視聴する場合の画像を調整できます。テレビなどに出力する場合は「一般設定」（34 ページ）をご覧ください。



1 OPTIONS（オプション）ボタンを押す。

オプションメニューが表示されます。

2 ↑/↓ で「LCD モード」を選び、ENTER（決定）ボタンを押す。

設定項目が表示されます。

3 ↑/↓ で項目を選び、ENTER ボタンを押す。

- LCD アスペクト：画面サイズを変更します。↑/↓ で「ノーマル」または「フル」を選びます *。
- バックライト：←/→ で画面の明るさを調整します。
- コントラスト：←/→ で画面の明暗を調整します。
- 色あい：←/→ で画面の赤と緑のバランスを調整します。
- 色の濃さ：←/→ で画面の色の濃さを調整します。
- 初期値：各設定値を工場出荷時の値に戻します。

→ 次のページへつづく

* 「ノーマル」は画像の縦横比を変えずに表示します。4:3 画面サイズで記録された画像では、左右に帯がつきます。16:9 画面サイズにレターボックスで記録された画像または、4:3 画面サイズにレターボックスで記録された画像では、上下左右に帯がつきます。「フル」は 16:9 画面サイズで記録された画像を、画面いっぱいに表示します。

メニュー画面を閉じるには

OPTIONS ボタンまたは ↶ リターンボタンを押します。

ヒント

- 液晶画面を閉じると、自動的に画面表示はオフになります。
- 「一般設定」にも画面表示に関する設定があります（34 ページ）。

ご注意

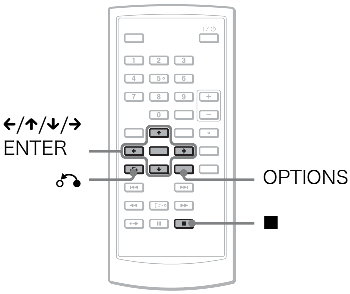
- DVD 再生時、選択できる画面サイズは再生しているディスクによって異なります。
- 「16：9」で記録されたディスクを再生時、「ノーマル」を選べない場合があります。
- PBC「切」でビデオ CD 再生中は、画面サイズ / 画質の調整はできません。

設定画面を使う

設定画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVD の字幕の言語やメニューの表示言語の設定などもできます。各項目について詳しくは、34 ～ 38 ページをご覧ください。

ご注意

あらかじめ再生条件がディスクに設定されているものがあります。その場合はディスクの情報が有効になります。

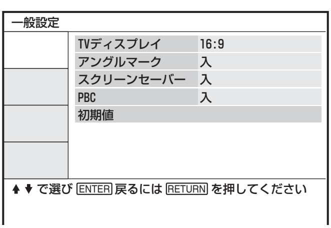


1 停止中に OPTIONS（オプション）ボタンを押す。

オプションメニューが表示されます。
つづき再生停止時は設定画面が使用できません。■ を 2 回押してつづき再生を解除してから OPTIONS ボタンを押してください。

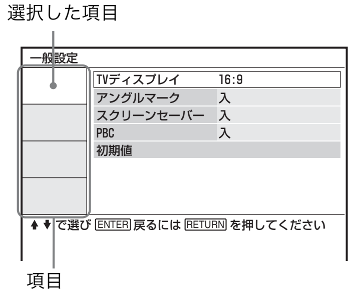
2 ↑/↓ で「設定」を選び、ENTER（決定）ボタンを押す。

「設定」の設定項目が表示されます。



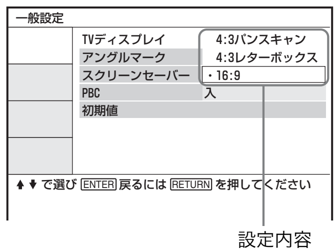
3 ↑/↓ で「一般設定」、「オーディオ設定」、「言語設定」、「視聴制限」の中から、設定したい項目を選び、ENTER ボタンを押す。

選択した項目の画面が表示されます。
例：「一般設定」



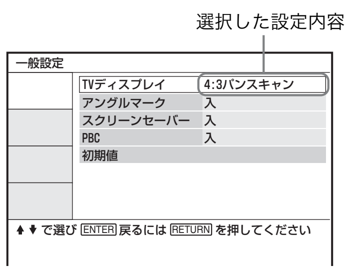
4 ↑/↓ でさらに設定項目を選び、ENTER ボタンを押す。

設定項目の内容が一覧表示されます。
例：「TV ディスプレイ」の設定内容



5 ↑/↓ で設定内容を選び、ENTER ボタンを押す。

設定内容が選ばれ、設定が終了します。
例：「4:3 パンスキャン」



設定画面を終了するには

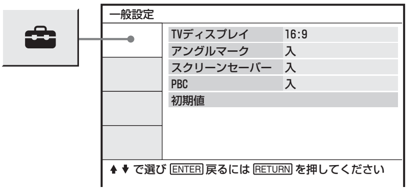
OPTIONS ボタンまたは リターンボタンを 2 回押します。

画像に関する設定

（一般設定）

再生時の表示方法や接続するテレビの設定などを行います。

設定画面で「一般設定」を選びます（「設定画面を使う」33 ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

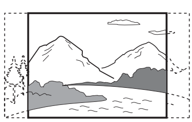


◆ TV ディスプレイ（DVD のみ）

接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の 4：3 画面テレビ）を設定します。

4:3 パンスキャン	4:3 画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する。
4:3 レターボックス	4:3 画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する。
16:9	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき。

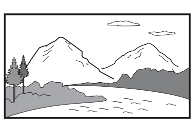
4:3 パンスキャン



4:3 レターボックス



16:9



ご注意

DVD によっては「4:3 レターボックス」あるいは「4:3 パンスキャン」に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

◆アングルマーク

アングルが記録された DVD を再生する際、アングル変更が可能なときに、液晶画面にアングルマークを表示するよう設定します。

入	アングルマークを表示する。
切	アングルマークを表示しない。

◆スクリーンセーバー

一時停止または停止したままで 15 分経つと、スクリーンセーバーの画面に切り換わるよう設定します。画像の焼き付き（残像現象）を防ぐのに役立ちます。▷ を押すと、スクリーンセーバー画面は消えます。

入	スクリーンセーバーを使う。
切	スクリーンセーバーを使わない。

◆ PBC（Playback Control）

PBC（Playback Control）機能を使って、対話型の機能や検索ができるようにします（23 ページ）。この設定は PBC 機能付きのビデオ CD を再生するときにのみ有効です。設定後、ディスクぶたを開閉した後に設定値が有効になります。

入	PBC 機能により、画面のメニューからビデオ CD を再生できる。
切	PBC 機能を使わない。

◆初期値

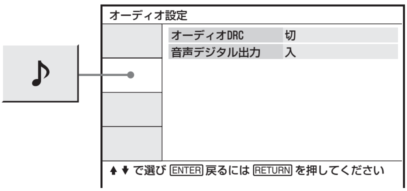
この設定を実行すると、各設定値が工場出荷時の初期値に戻ります。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

音声に関する設定

（オーディオ設定）

再生するときの音の設定を、再生や接続などの条件に合わせて設定します。

設定画面で「オーディオ設定」を選びます（「設定画面を使う」33 ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。



◆オーディオ DRC（Dynamic Range Control）（DVD のみ）

DVD の音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。オーディオ DRC に対応の DVD にのみ効果があります。
この機能は、次の端子からの出力に効果があります。
- AUDIO 端子
-「ドルビーデジタル」を「ダウンミックス PCM」に設定したときの OPTICAL OUT 端子（35 ページ）

入	小さい音までよく聞こえるようにする。
切	通常はこの設定にする。

◆音声デジタル出力

OPTICAL OUT 端子から音声デジタル信号を出力するかしないかを選びます。

入	通常はこの設定にする。この設定を選んだら、「音声デジタル出力の信号を設定する」を設定する。
切	デジタル回路がアナログ回路に与える影響を最小限に抑えられる。

音声デジタル出力の信号を設定する

OPTICAL OUT 端子に、デジタル入力端子のあるアンプなどのオーディオ機器をつないだときの、音声信号の出力方式を設定します。
接続について詳しくは、39 ページをご覧ください。
「音声デジタル出力」で「入」を選んでから、「ドルビーデジタル」および「DTS」を設定してください。
設定した音声信号の出力方式に対応していない機器を接続していると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

◆ドルビーデジタル（DVD のみ）

ドルビーデジタル信号のデジタル出力方式を選びます。

ダウンミックス PCM	ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。
ドルビーデジタル	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。

◆ DTS

DTS 信号をデジタル出力するかしないかを選びます。

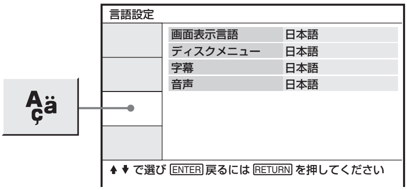
入	DTS デコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。
切	DTS デコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。

➡ 次のページへつづく

表示言語や音声言語の設定（言語設定）

画面や音声の言語を設定します。

設定画面で「言語設定」を選びます（「設定画面を使う」33 ページ）。



◆画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。

◆ディスクメニュー（DVD ビデオのみ）

ディスクのメニューの言語を切り換えます。「オリジナル」を選ぶと、ディスク内で優先されている言語が選ばれます。

◆字幕（DVD ビデオのみ）

字幕の言語を切り換えます。
「切」を選ぶと、字幕を表示しません。

◆音声（DVD ビデオのみ）

音声の言語を切り換えます。
「オリジナル」を選ぶと、ディスク内で優先されている言語が選ばれます。

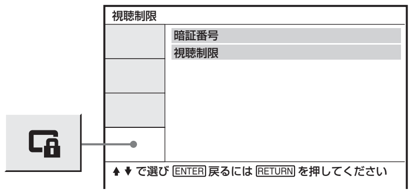
ご注意

「ディスクメニュー」、「字幕」、「音声」で選んだ言語が DVD ビデオに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。

視聴制限に関する設定（視聴制限）

DVD ビデオには、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。視聴制限機能を使うと、この視聴制限レベルを設定することができます。

設定画面で「視聴制限」を選びます（「設定画面を使う」33 ページ）。



◆暗証番号

暗証番号の入力や変更を行います。暗証番号を設定すると、視聴制限がある DVD の再生を制限できます。暗証番号を最初に使用するときは、旧パスワードの入力は不要です。新しいパスワードを入力してください。

◆視聴制限

設定するレベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。
視聴制限を設定するには「暗証番号」で設定したパスワードが必要です。先に「暗証番号」の設定を行ってください。

暗証番号を変更する

1 **視聴制限画面から、↑/↓ で「暗証番号」を選び、ENTER（決定）ボタンを押す。**

2 **「変更」を選んで、ENTER ボタンを押す。**
暗証番号入力の画面が表示されます。

3 **数字ボタンで現在の 6 桁の暗証番号を「旧パスワード」に入力する。**

4 **数字ボタンで新しい 6 桁の暗証番号を「新パスワード」に入力する。**

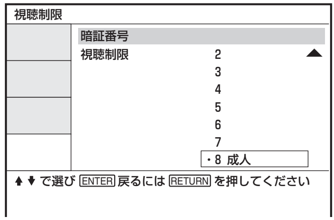
5 **確認のため、数字ボタンでもう一度新しい暗証番号を「パスワード確認」に入力し、ENTER ボタンを押す。**

暗証番号を間違えたときは

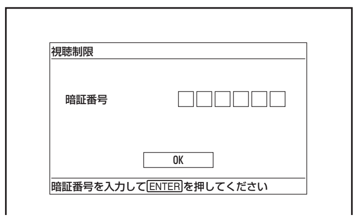
手順 5 で ENTER ボタンを押す前に暗証番号を入力しなおすときは、CLEAR（クリア）ボタンを押すか、← でひとつずつ戻り入力しなおします。

視聴制限を設定する DVDVideo

1 **視聴制限画面から ↑/↓ で「視聴制限」を選び、ENTER（決定）ボタンを押す。**
視聴制限のレベル設定変更の画面が表示されます。



2 **↑/↓ で制限するレベル（1 ～ 8）を選び、ENTER ボタンを押す。**
レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。
暗証番号入力の画面が表示されます。



3 **数字ボタンで 6 桁の暗証番号を入力し、ENTER ボタンを押す。**
視聴年齢制限の設定が終了します。

視聴制限機能がある DVD を再生するには

1 ディスクを入れて、▷ を押す。
視聴制限の暗証番号入力画面が表示されます。

2 数字ボタンで 6 桁の暗証番号を入力し、ENTER ボタンを押す。
再生が始まります。

➡ 次のページへつづく

登録した暗証番号を忘れたときは

ディスクを取り出し、「暗証番号を変更する」（37 ページ）の手順にしたがって操作します。「旧パスワード」には 6 桁の数字「136900」を入力し、「新パスワード」と「パスワード確認」に新しい 6 桁の暗証番号を入力します。

ご注意

- 視聴制限機能がないディスクは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。つづき再生が解除されたときに、設定したもとのレベルに戻ります。

他機と接続する

LINE SELECT（入出力選択）スイッチの切り換えについて

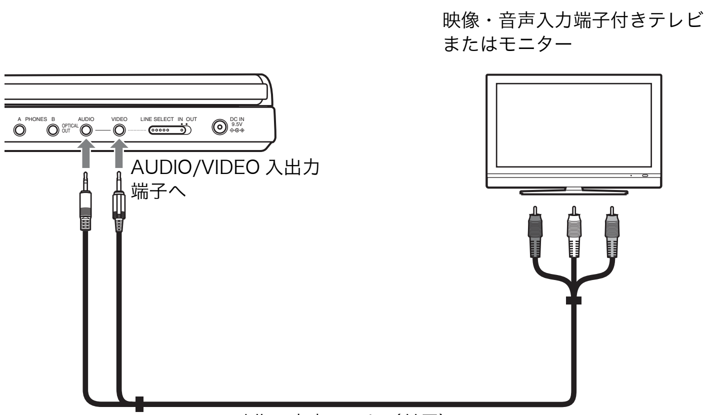
「IN」：　外部機器から映像 / 音声信号を入力し、本機で画面表示 / 音声出力します。
外部機器から信号が入力されるまで「Line In」が液晶画面に表示されます。

「OUT」：本機の再生信号をテレビなどに出力します。

ご注意

- プラグは端子にしっかりと差し込んでください。ノイズや雑音の原因となります。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 映像入力端子のないテレビに接続することはできません。
- コンセントから本機および接続する機器のプラグを抜いてから接続してください。
- 本機とテレビは直接つないでください。ビデオデッキを経由して本機の映像をテレビに映すと、画像が乱れることがあります。

テレビやモニターと接続する



映像 / 音声コード（付属）

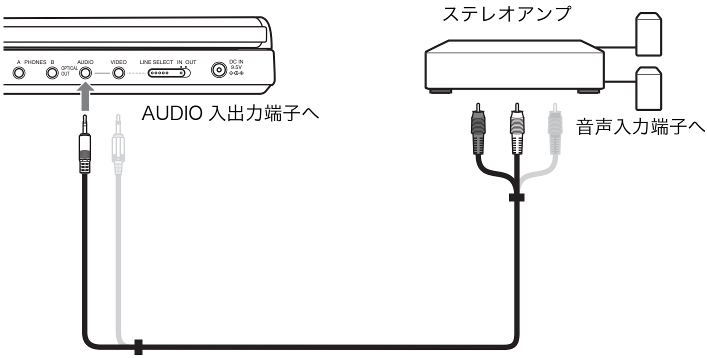
テレビやモニターに映像を出力するには

1 本体右側面の LINE SELECT スイッチを「OUT」にする。

➡ 次のページへつづく

アンプと接続する

接続例 1



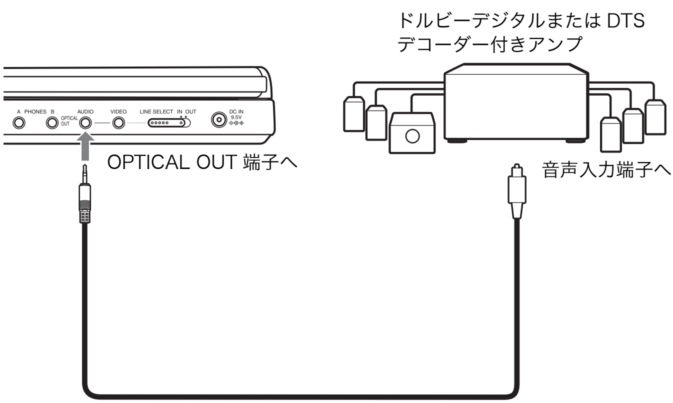
映像 / 音声コード（付属）

アンプに音声を出力するには

1 本体右側面の LINE SELECT スイッチを「OUT」にする。

＊ 映像音声コードの黄プラグは、映像入力端子とつなぐとき（39 ページ）に使います。

接続例 2



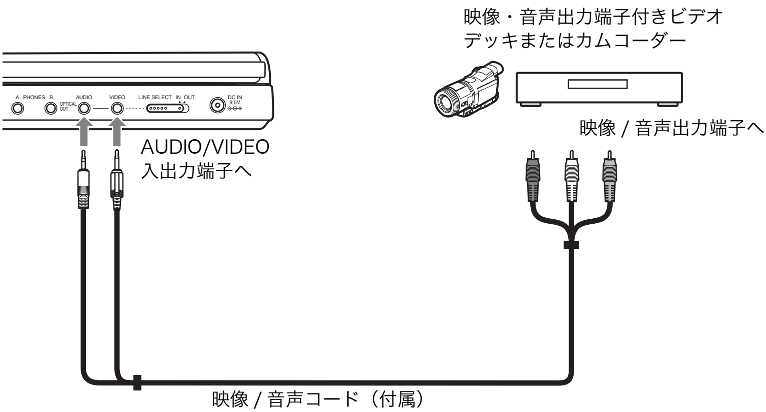
光デジタルコード（別売り）

アンプにデジタル音声を出力するには

1 本体右側面の LINE SELECT スイッチを「OUT」にする。

2 「オーディオ設定」の「音声デジタル出力」を「入」にする（35 ページ）。

ビデオやビデオカメラと接続する



ビデオやビデオカメラの映像を入力するには

1 本体右側面の LINE SELECT スイッチを「IN」にする。

ご注意

ご使用後は、LINE SELECT スイッチを「OUT」にしてください。「IN」のままにしておくと本機での再生ができません。

その他

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはソニーサービス窓口、お買い上げ店にお問い合わせください。

電源

電源が入らない。

➡ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。
➡ バッテリーパックを装着して本機を使用している場合、バッテリー切れになっていないか確認する。

映像

映像が出ない、乱れる。

➡ ディスクに汚れや傷がある。
➡ 明るさが最小に設定されている。「LCD モード」で明るさを調整する（31 ページ）。
➡ 本機で再生するには、LINE SELECT スイッチを「OUT」にする。再生映像をテレビなどに映す場合も「OUT」にする。他機からの映像を本機の液晶で見るには「IN」にする（39 ページ）。
➡ 接続コードのプラグをしっかり差しなおす。
➡ 接続コードが断線している。
➡ テレビの接続を確認し（39 ページ）、テレビの入力を本機の映像が映るように切り換える。
➡ ハイビジョンテレビ専用のコンポーネントビデオ入力端子（Y/P_B/P_R）に本機を接続している。
➡ 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続していると、一部の DVD プログラムに使用されているコピープロテクション信号が画質に悪影響を及ぼす可能性がある。

設定画面の「一般設定」の「TV ディスプレイ」で設定した画像の形で再生できない。

➡ 画像の形が固定されているディスクを再生している。

液晶画面に黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えない。

➡ 液晶画面の性質上発生するものであり、故障ではない（45 ページ）。

音声

音が出ない。

➡ 一時停止、スロー再生になっている。
➡ 早送りまたは早戻しになっている。
➡ 音声トラック 2 が記録されていないスーパー VCD で、「ステレオ 1」、「左 1」、「右 1」を選んでいる。
➡ 接続コードのプラグをしっかり差しなおす。
➡ 接続コードが断線している。
➡ 接続したアンプの入力端子を間違えている（40 ページ）。
➡ 接続したアンプの入力切換で本機の音声が出るようにしていない。
➡ OPTICAL OUT 端子から音が出ないときは設定画面を確認する（35 ページ）。

音が小さい。

➡ DVD によっては、再生時の音量が小さい場合がある。「オーディオ DRC」を「入」に設定（35 ページ）すると、改善されることがある。

操作

リモコンで操作できない。

➡ リモコンの電池が消耗している。
➡ リモコンと本体との間に障害物がある。
➡ リモコンと本体との距離が離れている。
➡ 本体のリモコン受光部に向けて操作していない。
➡ リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たっていないか確認する。

操作ボタンを押しても、応答がない。

➡ 本体の I/⏻/HOLD スイッチが「HOLD」に設定されていないか確認する（19 ページ）。

再生が始まらない。

➡ ディスクが裏返しに入っている。
ラベル面（または再生できない面）を上にする。
➡ ディスクが正しくはめ込まれていない。
➡ 再生できないディスクを入れている（10 ページ）。
➡ 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている（11 ページ）。
➡ 結露している（45 ページ）。
➡ 正しくファイナライズされていない録画用ディスクを再生しようとしている（10 ページ）。
➡ 視聴制限が設定されている。設定を変更する（37 ページ）。
➡ 本体左側面の CD/DVD USB 切り換えスイッチが「USB」になっている。
➡ 本体右側面の LINE SELECT スイッチが「IN」になっている。

再生が自動的に始まる。

➡ 自動的に再生が始まるディスクを入れている。

再生が自動的に止まる。

➡ オートポーズ信号が記録されているディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。

停止、サーチ、スキャン、スロー再生、リピート再生、ランダム再生などの操作ができない。

➡ 操作を禁止しているディスクを再生している。ディスクに付属の説明書もあわせて見る。

音声言語を変更できない。

➡ リモコンのボタンで直接操作する代わりに、DVD メニューから操作する（20 ページ）。
➡ 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。
➡ 音声言語の切り換えを禁止しているDVD を再生している。

字幕を変更できない、または消すことができない。

➡ リモコンのボタンで直接操作する代わりに、DVD メニューから操作する（20 ページ）。
➡ 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。
➡ 字幕の変更または消す事を禁止している DVD を再生している。

アングルを変更して見ることができない。

➡ リモコンのボタンで直接操作する代わりに、DVD メニューから操作する（20 ページ）。
➡ 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。
➡ 液晶画面のアングル表示「🎥」が点灯していない場面で、アングルを切り換えている（22 ページ）。
➡ アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。

➡ 次のページへつづく

MP3 音声トラックを再生できない。

➡ 次のような音声を再生している（48 ページ）。

ーデータ CD が ISO9660 レベル 1 または Joliet 準拠の MP3 フォーマットで記録されていない。

ーデータ DVD が UDF（ユニバーサルディスクフォーマット）準拠の MP3 フォーマットで記録されていない。

ー拡張子が「.MP3」以外の MP3 音声

ー拡張子は「.MP3」だが、MP3 形式以外のデータ

ーMPEG-1 Audio Layer Ⅲ以外の音声

ーmp3PRO で記録された音声

ーMP3 音声のトラックが壊れている。

JPEG 画像ファイルを再生できない。

➡ 次のような画像を再生している（48 ページ）。

ーデータ CD が ISO9660 レベル 1 または Joliet に準拠する JPEG フォーマットで記録されていない。

ーデータ DVD が UDF（ユニバーサルディスクフォーマット）準拠の JPEG フォーマットで記録されていない。

ー拡張子が「.JPG」以外の JPEG 画像

ー拡張子は「.JPG」だが、JPEG 形式以外のデータ

ーJPEG 画像ファイルの形式が DCF に準拠していない（48 ページ）。

ーサイズがノーマルモードで 3078（幅）× 2048（高さ）以上、またはプログレッシブ JPEG で 330 万画素以上である（これ以下でも表示できない場合があります）。

ーJPEG 画像ファイルが壊れている。

データ CD/ データ DVD/USB のアルバム / トラック / ファイル名が正しく表示されない。

➡ 記録した際の書き込み用ソフトウェアによっては、入力した文字とは異なる文字が表示されることがある（49 ページ）。

再生がディスクの最初から始まらない。

➡ リピートまたはランダム再生になっている（25、27 ページ）。

➡ つづき再生になっている（20 ページ）。

正常に動作しない。

➡ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、本体電源を抜く。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。ディスクに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - ー 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所。
  - ー 直射日光下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - ー チューナーやテレビ、ビデオデッキから近いところ。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。）
  - ー 電子レンジや大音量スピーカーなど磁気の強いものから近い所。
  - ー ホコリの多い所。
  - ー ぐらついた台の上や傾いた所。
  - ー 振動の多い所。
  - ー 風呂場など、湿気の多い所。
- 本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

結露について

本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。

結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約 30 分放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

液晶画面について

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。
- 液晶画面の表面を濡れたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 液晶画面に物を載せたり、落としたりしないでください。また手やひじをついて体重をかけないでください。
- 本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、液晶画面に結露が生じることがあります。結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパー等をお使いになることをお勧めします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に温まるまでお待ちください。

AC アダプターについて

AC アダプターはコンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、不具合が生じた時はすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

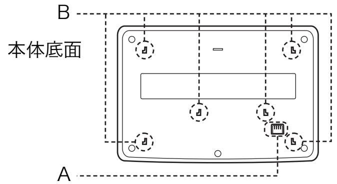
- AC アダプターを本棚や組み込みキャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- ACアダプターを海外旅行者用の電子式変圧器などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。

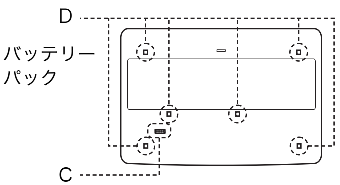
バッテリーパックについて

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間の経過によってバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が通常の半分くらいになったときは、新しいものをご購入ください。
- 初めて充電するときや、長時間使用しなかった後では、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か放充電を繰り返すと通常の状態に戻ります。
- 高温になった車の中や炎天下など、60 ℃以上になる場所に放置しないでください。
- 水に濡らさないでください。

➡ 次のページへつづく

- 本体底面のバッテリー接続端子（図の A）とバッテリーパックの接続端子（図の C）をネックレスなどの金属類でショートさせないでください。
- 本体底面のバッテリー接続端子（図の A）や本体底面のバッテリー用ガイド穴（図の B）、バッテリーパックの接続端子（図の C）、バッテリーパックのガイド用ツメ（図の D）に、ゴミや砂などの異物が入らないようにしてください。





カーアダプターについて

- カーアダプターを分解または改造しないでください。
- カーアダプターを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カーアダプターの金属部分に触れないでください。特に金属物で触れるとショートしてカーアダプターが損傷することがあります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所。
  - 直射日光下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - 振動の多い所。

音量を調整するときは

再生を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。始めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

本体のお手入れについて

- キャビネットの汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- 液晶画面は、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。濡れたもので液晶画面を拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。

レンズのお手入れについて

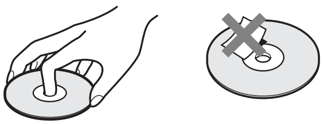
画像が乱れたり、音飛びをするときは、レンズにゴミやほこりがたまっている場合があります。このときは、市販のカメラレンズ用のブロワーブラシで、レンズのクリーニングをしてください。クリーニングをするときは、レンズに直接触れないようご注意ください。レンズ用のクリーニングディスクやディスククリーナー（湿式またはスプレー式を含む）は、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

クリーニングディスク、ディスククリーナーについて

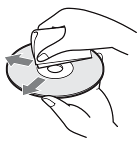
レンズ用のクリーニングディスクやディスククリーナー（湿式またはスプレー式を含む）は、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

ディスクの取り扱いについて

- 再生面に手を触れないように持ちます。



- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。



- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- ラベル印刷したディスクは印刷面が乾いてからお使いください。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画を液晶画面やテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビや液晶テレビなどでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

◆調子が悪いときはまずチェックとご相談を

この説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。
症状が改善されないときは、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。詳しくは、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」または裏表紙をご覧ください。

◆保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◆保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

◆部品の保有期間について

当社では、CD/DVD プレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

◆部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

➡ 次のページへつづく

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
- 型名：DVP-FX850
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 再生していたディスクのタイトル名：
- 再生していたディスクの種類（DVD ビデオ、DVD-RW、DVD-R など）：
- つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

MP3 音声 /JPEG 画像について

MP3/JPEG とは？

MP3 は ISO/IEC MPEG 規定に準じた音声圧縮技術です。
JPEG は映像圧縮技術です。
MP3 音声トラックや JPEG 画像ファイルを含んだデータ CD/ データ DVD を再生することができます。

再生可能なデータ CD/ データ DVD

本機では MP3（MPEG-1 Audio Layer III）や JPEG で記録されたデータ CD（CD-ROM/CD-R/CD-RW）やデータ DVD（DVD-ROM/DVD+RW/DVD+R/DVD-RW/DVD-R）を再生することができます。
ただし再生できるのは ISO9660 のレベル 1/Joliet 準拠で記録されたデータ CD と、Universal Disk Format（UDF）で記録されたデータ DVD に限られます。
記録方式について詳しくは、ディスクドライブまたは書き込み用ソフトウェア（別売り）の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

本機ではパケットライト方式およびマルチセッションで作成されたデータ CD/ データ DVD を再生できないことがあります。

再生可能な MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイル

本機では次のような MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイルを再生することができます。

- 「.MP3」（MP3 音声トラック）または「.JPG」（JPEG 画像ファイル）の拡張子がある。
- DCF* 画像ファイル形式に準拠している。

* 「カメラファイルシステムのデザイン規定」：電子情報技術産業協会（JEITA）によって規定されたデジタルカメラの画像標準。

ご注意

- ファイルの拡張子が「.JPE」または「.JPEG」の場合は、「.JPG」に名前を変更してください。
- MP3 や JPEG 形式以外のデータに「.MP3」または「.JPG」の拡張子をつけると、本機はそれらを再生してしまい、雑音や故障の原因となります。
- 本機は mp3PRO で記録された音声には対応していません。
- JPEG 画像ファイルによっては、再生できないものがあります。
- 本機で表示できるトラック名 / ファイル名は最長で 14 文字です。それ以降の文字は表示できません。
- 漢字やひらがな、カタカナなど日本語のトラック名 / ファイル名は表示できません。表示できない文字は＊で表示されます。
- ディスクによっては、表示できないトラック名 / ファイル名の文字を＊で表示します。
- UDF ファイルシステムで書き込まれた CD-R/CD-RW のファイル名は、正しく表示できません。
- VBR モードで記録された MP3 を再生したとき、正しいビットレートを表示できません。

アルバムやトラック、ファイルの再生順序について

1 つのアルバム内のトラックやファイルをメディア（CD-R など）に書き込まれた順に再生します。

ヒント

多くの階層を持つディスクは再生を始めるのに時間がかかります。ディスクにアルバムを記録するときは第 2 階層までにすることをお勧めします。

ご注意

- ディスクに記録された299番目のアルバムまで本機は認識できます（このときの数え方は、MP3 音声トラックや JPEG 画像ファイルを含まないアルバムも数に入れてアルバムのみを数えます）。それより後のアルバムは本機では再生できません。
- ディスクに記録された648番目のトラックおよびファイルまで本機は認識できます（このときの数え方は、アルバム数との合計です）。それより後のトラックおよびファイルは本機では再生できません。
- ディスクの書き込み条件によって、認識できるトラック / ファイルとアルバムの合計数が 648 よりも少ないことがあります。
- アルバムリスト画面で表示されるアルバム名は、再生中のアルバム名を表示し、それより上の階層のアルバム名は「\..\」と省略されます。

主な仕様

システム

形式：CD/DVD プレーヤー
信号方式：JEITA 標準、NTSC カラー方式

音声特性

周波数特性：DVD ビデオ（PCM 48 kHz 再生時）：20 Hz 〜 22 kHz/CD：20 Hz 〜 20 kHz*
全高調波ひずみ率：0.01 %*
ダイナミックレンジ：DVD ビデオ：90 dB/CD：90 dB*
ワウ・フラッター：測定限界（± 0.001% W PEAK）以下 *

* JEITA（電子情報技術産業協会）の規格による測定値です。

入出力端子

VIDEO（映像入出力）：
ミニジャック（1 個）
出力 1.0Vp-p（75Ω）
AUDIO（音声入出力）/OPTICAL OUT（光デジタル出力）：
ステレオミニジャック / 光ミニジャック兼用（1 個）
出力 2.0Vrms（47 k Ω）
推奨負荷インピーダンス　47 k Ω 以上
PHONES（ヘッドホン出力）A/B：
ステレオミニジャック（2 個）

液晶画面

パネルサイズ：幅 8 インチ（対角）
駆動方式：TFT アクティブ・マトリックス
解像度：800 × 480（有効ピクセル率：99.99%）

電源、その他

電源：DC9.5V（AC アダプター / カーアダプター）
DC7.4V（充電池）
消費電力（DVD ビデオ再生時）：
約 23W（バッテリーパック装着時）
約 8W（バッテリーパック未装着、ヘッドホン使用時）
最大外形寸法：
226.2 × 32.3 × 165.3 mm（幅 / 高さ / 奥行き）（最大突起部分を含む）
質量：約 1.045 kg
許容動作温度：5 〜 35 ℃
許容動作湿度：25 〜 80 %
AC アダプター：AC100-240V、50/60Hz
カーアダプター：DC12V

付属品

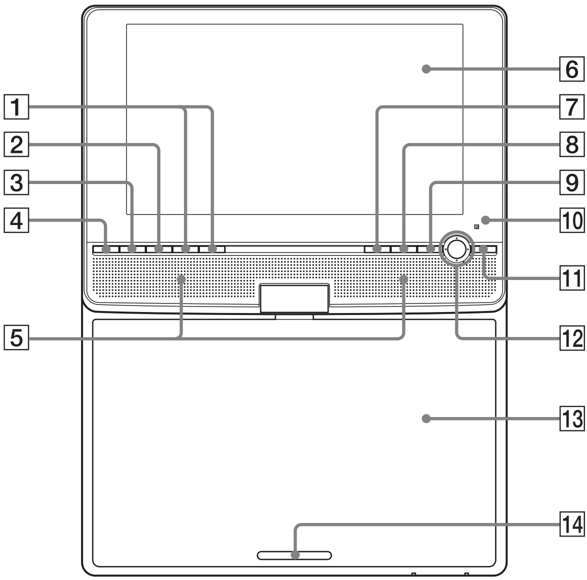
12 ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

詳しい説明は（　）内のページをご覧ください。

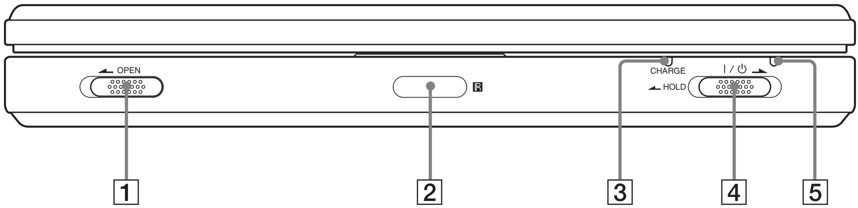
本体正面



1 ⏮/⏭（前 / 次）ボタン（19）
2 ■（停止）ボタン（19）
3 ❚❚（一時停止）ボタン（19）
4 ▷（再生）ボタン（18）
5 スピーカー（19）
6 液晶画面（13）
7 DISPLAY（再生設定）ボタン（24）
8 MENU（メニュー）ボタン（20）
9 RETURN（リターン）ボタン（24）
10 🅁（リモコン受光部）（12）
11 OPTIONS（オプション）ボタン（27）
12 ←/↑/↓/→ ボタン、決定ボタン（20）
13 ディスクぶた（18）
14 PUSH CLOSE 部（18）

➡ 次のページへつづく

本体前面



1 OPEN（オープン）つまみ（18）

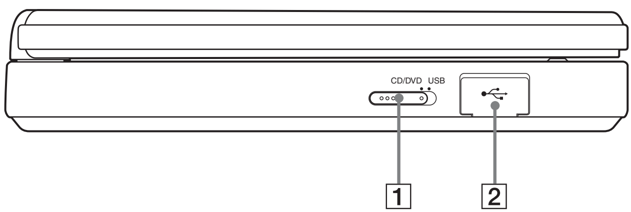
2 ®（リモコン受光部）（12）

3 CHARGE（充電）ランプ（16）

4 I/⏻/HOLD（電源 / ホールド）スイッチ（18）

5 電源ランプ（18）

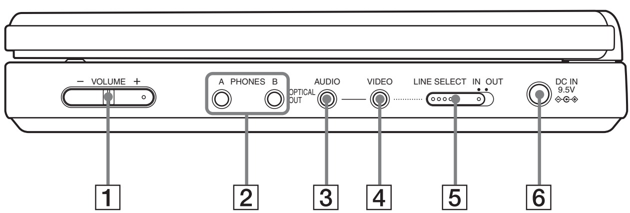
本体左側面



1 CD/DVD USB 切り換えスイッチ（18）

2 USB 端子（28）

本体右側面



1 VOLUME –/+（音量）ボタン

2 PHONES（ヘッドホン）端子 A、B

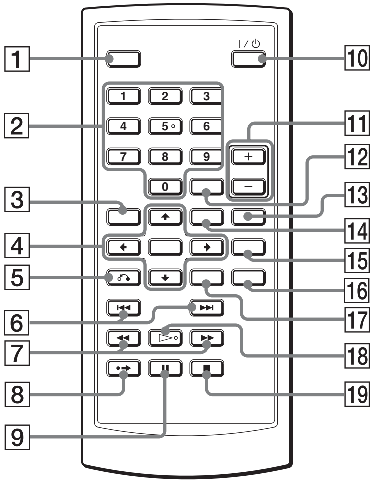
3 AUDIO（音声）入出力端子 /OPTICAL OUT（音声デジタル出力（光））端子（39、40）

4 VIDEO（映像）入出力端子（39）

5 LINE SELECT（入出力選択）スイッチ（18）

6 DC IN 9.5V（AC アダプター入力）端子（14）

リモコン



1 DISPLAY（再生設定）ボタン（24）
2 数字ボタン*（20）
3 TOP MUNU（トップメニュー）ボタン（20）
4 ←/↑/↓/→ ボタン、ENTER（決定）ボタン（20）
5 ↶（リターン）ボタン（24）
6 ⏮/⏭（前 / 次）ボタン（19）
7 ◀◀/▶▶（スキャン / スロー）ボタン（26）
8 •➡（アドバンス）ボタン（19）
9 ❚❚（一時停止）ボタン（19）
10 I/⏻（電源）ボタン（18）
11 VOL（音量）+/– ボタン
12 CLEAR（クリア）ボタン（37）
13 AUDIO（音声）ボタン*（21）
14 MENU（メニュー）ボタン（20）
15 SUBTITLE（字幕）ボタン（22）
16 ANGLE（アングル）ボタン（22）
17 OPTIONS（オプション）ボタン（27）
18 ▷（再生）ボタン*（18）
19 ■（停止）ボタン（19）

* 凸点（突起）が付いています（数字ボタンは「5」のみ）。操作の目印としてお使いください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

ラ行

アルファベット / 数字順

よくあるお問い合わせ、解決方法などは ホームページをご活用ください。	**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「102」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389 **受付時間** 月〜金：9:00〜20:00 土・日・祝日：9:00〜17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

3-100-247-**02**(1)

I-3100247O2U

Printed In China